よりよい地域をめざして…地域情報紙　買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう

# シティライフ

2020.1.25 Vol.1123
外房長生夷隅版
配布地域／茂原市・長生郡・いすみ市・夷隅郡・勝浦市【60,000部】
https://www.cl-shop.com
企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1 TEL.0436 (21) 9311 FAX.0436 (21) 9142
地域で守ろう子どもの安全　次回発行日▶2月1日(土)　中央①
シティライフが提供する動画をWEBで見れます！

左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます！



# 学び舎に集う アクティブシニア

## 千葉県生涯大学校 外房学園

『千葉県生涯大学校』は、『生きがい』『健康』『仲間づくり』を三本柱として掲げ、シニア世代の社会参加を促進する目的で、県内5地域に設置されている。その1つ『外房学園』は茂原市本小轡にあり、現在220名が在籍する。入学資格は55歳以上で、健康・生活学部が2年制、造形学部園芸まちづくりコースも同じく2年制、造形学部陶芸コースは1年制となっている。

### 学ぶ喜び 魅力ある 学園生活

「学園の理念は、学んだことを地域にフィードバックすること。それぞれの地域で自ら率先して動くリーダーを、育てることです。同じ年代の仲間を得て、学生たちは生き生きと学んでいます。卒業生も学園に愛着を持ち、4割の生徒が再入学、OBのクラブ活動も盛んです」と、学園長の櫻田実さんは説明する。

例えば、健康・生活学部のカリキュラムは、パソコン実習・暮らしの法律・福祉関連の資格取得・スポーツ・調理実習・校外学習などと幅広い充実ぶり。大学教授や各分野の専門家から基礎・応用を学ぶ授業は工夫が凝らされていて、毎回楽しいと生徒から評判だ。福祉の授業の一例としては、高齢者の孤立を防ぐために行われている取り組みで、保育園にランチのできるカフェを併設したり、地産地消をうたった民家レストランを地域住民の交流の場にしているなどの実例を紹介。コミュニティーの広げ方のヒントとして様々なアイデアの気づきを促している。

OBの活動では、地域ボランティアの輪が広がっている。自宅近くの信号機の周りが草だらけになっていることに気づき、仲間を募って草刈りと清掃をし、花を植え始めたというグループは、土木事務所への連絡や花のタネの仕入れ・育成方法について学園で学んだことが活かされ、運営がスムーズに行われているということだ。

### 実りの季節に 外房学園祭

11月16日(土)と17日(日)の2日間、『好奇心 ワクワクチャレンジ！ 外房学園』をテーマに、学園祭が開催された。学園祭実行委員長の小川衛さんは、健康生活学部の2年生で、東金市在住。絵手紙とコーラスのクラブに在籍している。学園祭の企画段階よりたくさんのスタッフと準備を進めてきた。「この学園祭には、在学生はもとより、大勢の学生OBが参加しています。豊富な知識や経験を活かした作品の数々、芸能発表は見どころ満載です。地域との世代間交流の大切な場でもあり、私たちは地域に元気を届け、地域の方からも元気をいただいています」と語った。そして「来園された方が、今後学園に入学されたり、新しい事やずっとやりたかった事など、自分の夢を実現するきっかけになるといいと思います」と続けた。

会場では、色彩豊かな手芸作品や手の込んだ切り絵に木工品、丹精した盆栽に菊の花など、様々な作品が来場者の目を楽しませた。日用品・手作り作品のバザー、園芸コースで育てた野菜の販売は、毎年これらを目当てに来場する人も多く、書道に折り紙、スポーツ吹矢やグラウンドゴルフなどの体験コーナーには、子どもたちの姿も見られた。ステージは両日を通して歌ありダンスあり、マジックに落語もあって、こちらも大盛況。コーラスグループの『#フレンズ』は、1年前に学園祭出場のため創設されたが、学園祭のみならず、卒業式や入学式に歌で花を添え、学外の福祉施設に出前公演にも出掛けるなど精力的に活動している。また、陶芸教室棟では、在校生・卒業生による陶芸作品の展示とバザー、作陶体験が行われ、ここも多くの人でにぎわった。敷地の隣接している福祉作業所『あゆみの家』からは、ステージで歌の披露があり、焼き菓子とパンの販売も好評だった。

会場にいた女性は、「授業やクラブ活動はとても楽しいです。何よりも一緒に活動する仲間がいることが幸せです」とにこやかに話した。ハツラツと動き回る学生たちの姿は、第二の人生で今が青春！といった様子。その様子は、まさに『生きがい』『健康』『仲間づくり』を体現しているようだ。

（石井）

㈳千葉県生涯大学校　外房学園
☎0475・25・8228

絵手紙（上）と陶芸バザー（下）作品

太極拳の発表

手芸作品

（左から）実行委員長・小川さん、学園長・櫻田さん、学生自治会長・平野さん

# オリンピック選手が直接指導 もばらスポーツフェスティバル2019

12月15日(日)、茂原市市民体育館で、茂原市教育委員会主催の『もばらスポーツフェスティバル2019』が開催された。バレーボールVリーグの『V．明日夢（ミライ）プロジェクト』を通じて派遣された、元Vリーガーによるジュニアバレーボール教室と、選手のサイン入りグッズが当たる抽選会が行われた。市体育課の石井知彦さんは、「茂原市は、『市民 ひとり 1スポーツ』を目指しています。スポーツはするのも楽しみ、観るのも楽しみ。一線で活躍したアスリートのプレーを間近に観て、体験することで、地域スポーツの活性につなげたいと考えています」と説明した。

指導にあたったのは、元豊田合成トレフェルサ・諸隈直樹さん、元久光製薬スプリングス・渡辺真由美さん、元パイオニアレッドウィングス・高橋美帆さん、元デンソーエアリービーズ、北京オリンピック代表・櫻井由香さんの4名。茂原市及び長生郡の2つのジュニアチームと10の中学校バレー部から参加した約140名の小中学生とともに、午前午後を通して汗を流した。手ぬぐいを引っ張り合ったり、ぞうきんがけをするなど遊び形式のウォームアップで体も心もほぐれた後、パス・サーブ・スパイク・ブロックなど、1つ1つに丁寧な指導が続いた。スパイク練習では、渡辺真由美さんが上げたボールで、諸隈直樹さんがするどくスパイクをきめると、会場から歓声が上がった。「体が流れないように」、「ボールの下に早く入ることを忘れないで」というコーチの大きな声が飛び交う中、子どもたちも「ハイッ」と必死にプレーと向き合い、休憩時間にも興奮冷めやらず、コーチを取り囲んで熱心に質問する場面がいくつも見られた。

茂原東中学校バレー部部長の間宮結菜さんは、「ブロックの時、ネットと体の位置を少し離したら、コートの向こう側がよく見えるようになりました」、副部長の池田ななみさんは、「スパイクの助走では1歩目を小さく、2歩目を大きくという基本を学びました」、また御須日菜さんは、「スパイクでは、左手をしっかり上げて、右手を振り切ることが大切だとわかりました」と、洗練されたプレイヤーの技術を目の当たりにして、目を輝かせた。長生中学校バレー部部長の吉村結依さんと部員たちは、「足元に転がってきたボールを返してからレシーブするという、腰を落とすことを意識した練習など、普段の練習に参考になることがたくさんありました」と顔を上気させていた。

また指導教諭からも、「プロが大切にしている基礎・基本を学ぶ貴重な機会です」、「サーブやスパイク練習の1つ1つに様々なアプローチの仕方があり、勉強になりました」という声が上がった。教室終了後の抽選会では、観覧者も交えて会場はさらににぎわい、盛会のままスポーツフェスティバルは閉幕。参加者がそれぞれの立場で、バレーボールを楽しく満喫する1日となった。（石井）

(左から)諸隈直樹さん、渡辺真由美さん、櫻井由香さん、高橋美帆さん

諸隈直樹さんと生徒たち

## ふるさとビジター館 自然探訪 ベニマシコ

ナチュラリストネット／自然を愛する仲間の集まりです。豊かな自然環境をいつまでも永く残したいと活動しています。
☎080-5183-9684（野坂）

冬枯れの草原に鮮やかに映える赤い鳥「ベニマシコ」、バードウオッチャー憧れの鳥である。体長15～16センチ、全身が紅色で黒い翼に鮮やかな二本の白条をもつ。和名にある「マシコ」とは「猿」のことで、漢字では「紅猿子」と表記する。体の中でも顔の部分が特に真っ赤で、猿のように見え、この名前がついたとされている。ただし、紅色なのは雄であり、雌は全体的に淡い黄褐色で雄に比べて地味である。

北海道や青森県の一部で繁殖し、秋冬には本州以南へ移動して越冬する。

房総丘陵では林縁や疎林、耕作放棄地、草原などで、セイタカアワダチソウをはじめとする草の種子、ハンノキの芽等をついばむ姿が観察できる。美しい姿をぜひとも見たくなるが、下草に潜っていることが多く、警戒心が強いこともあり、姿を見つけることは容易ではない。ただ、「フィッ、フィッ」と鳴く優しい地鳴きを頼りにじっとして待つと姿を現わすことがある。

渡り直後の秋は、少しくすんだ赤色であるが、北国に戻る春が近づくとともに鮮やかさを増し、繁殖期の北国では、美しい深紅色になる。筆者も、北海道で夏季観察したことがあるが、その紅色の美しさに感動したことを覚えている。「ベニマシコ」は秋の季語とされているそうだ。特徴ある地鳴きが聞こえたら、周囲をそっと探して見よう。もし美しい姿に出会えたら、一句捻ってみてはどうか。

（ナチュラリストネット／岡嘉弘）

## SGT美術館「ユーラシア大陸の美術展」「地元コレクターの真贋展&即売会」開催！

勝浦市にあるSGT美術館（東急ハーヴェストクラブ近く）では、3月29日(日)まで「ユーラシア大陸の美術展～朝鮮半島から欧州」を開催中。高麗青磁・清代陶磁器・ペルシャ、ギリシャ土器・デルフト・マイセン・セーブルなどの陶磁器・中国やヨーロッパの宝飾品を一同に展示しており、陶磁器に関心のある方には見逃せないラインナップとなっている。

さらに、来月2月14日(金)～3月15日(日)には、「地元コレクター真贋展～鳥獣戯画からそば猪口まで」が同時開催。楽しい催しの企画展で、江戸時代の陶磁器や日本絵画、茶器、酒器、財布そして大正ロマンの写真や油絵など、楽しいアンティーク作品を大量に個別展示し、即売会も行うとのこと。中には掘り出し物があるかも。ぜひ探してみては。

開館時間：10時～17時（最終入館時間16時半）
開館日：毎週金、土、日、月曜日
入館料：一般900円、中高生600円、小学生400円
☎0470・64・6336

●SGT美術館
勝浦市守谷1512（カーナビ設定は同1501）

作：池福善「高麗青磁写唐草紋壺」



## 上総国一ノ宮 玉前神社提供 読者投稿 お好きに川柳〈第191回〉

◆お題「世界」

一席
世界一好きと男曽孫（おひこ）にキスをされ　茂原市　河野ひさ江

●気をつけよう！
ネットの一言世界に拡散　茂原市　こま

●おねしょでも
世界地図にす大物子　大網白里市　安延春彦

●銀世界
死語にしそうな温暖化　白子町　佐川浩昭

●羽根伸ばす
マイワールドの秘密基地　茂原市　道譯賢一

●長生きし
オリンピックの世界二度　大網白里市　渡辺光恵

●住む世界
違うと思い職探し　長生村　齋藤裕美

【賞品】
一席の方には、玉前神社様より2千円分の図書カードをプレゼント

【応募方法】
ハガキかFAX、メールで、〒番号、住所、氏名（希望の方はペンネームも）、年齢、電話番号を明記の上、〒290-0056 市原市五井4874-1 シティライフ「川柳」係。
2/4(火)〆切　※一枚のハガキ、FAXに何句書いていただいても結構です。皆様の応募待っております。
fax.0436-21-9142　kiji@cl-shop.com

次回・お題は「静か」です

ご祈寿
毎日9時～16時の間 いつでもお受けしています
〈玉前神社〉
TEL.0475-42-2711

# 行広告

有料 1行2,400円（税別）お申込はお早めに
☎0436-21-9311　FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社は一切責任を負えません

### 申し込み方法

◆専用申込書をＦＡＸまたは郵送でお送りします。
◆申込書に所定の内容を記入後、ご返送ください。追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込ください。掲載紙面は１部ご郵送します。

## 買います

●ピアノ　漆田 ☏0120-00-4210
●金プラチナ商品券　相場・額面の90～98%で　てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 水曜定休 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

## 生徒募集

●着付教室　毎㈰10時～11時・13時～14時 1回500円 浴衣から二重太鼓まで 詳しくはお問合せ下さい きもの館まるへい 茂原店 ☎0475-25-2617 担当：小谷部 岬本店 ☎0470-87-2707担当：飯野
●全日制フリースクール　中学不登校生のための学びの場です 成美学園中等部 ☎0475-44-5777

## 求人

●正社員・パート・アルバイト募集　新店舗開設及び業務拡張につきスタッフ募集中 各種保険完備 随時面接致します 委細面談 まずはお電話ください ☎0470-87-2707 まるへい岬本店 担当／髙地
●パート美容師募集　週1日からＯＫ　ラセーヌ牛久店 ☎0436-50-0822

## 営業案内

●ピアノのレンタル　シツデン ☏0120-00-4210

## お知らせ

●シニアのための独身パーティ東金☆2/9㈰午後4時 50才以上☆結婚相手又は友達探し☎0475-52-5241西村
●教育相談　ニート・不登校・学力不足・ひきこもり 初回無料 要予約 成美学園 ☎0475-44-5777
●楽しい黒沼ユリ子のトーク付コンサート　2／22㈯ 14時開演 ラビドールホール(御宿町御宿台) 100名 4,000円 メゾソプラノ:藤田彩歌リサイタル ピアノ:中ノ森めぐみ 曲目:佐々木すぐる・月の沙漠、モーツァルト・フイガロの結婚より恋はどんなものかしら、ほか 要予約・㈯㈰㈷11～16時受付 ☎0470-62-5565
●上原彩子＆豊嶋泰嗣 デュオリサイタル　2／9㈰ 14時開演 千葉県文化会館 全席指定4,500円・学生3,500円 チャイコフスキー国際コンクールで日本人初・第一位を獲得したピアニスト上原彩子、新日本フィル・ソロコンサートマスター、ストラディバリウスを奏でるヴァイオリニスト豊嶋泰嗣 日本が世界に誇る二人の名手による夢の共演 ☎043-222-0201

# らいふ通信

掲載無料　詳しくはお問い合わせ下さい
☎0436-21-9311　FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社は一切責任を負えません

### 申し込み方法

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※お申込み　内容を箇条書きにして、住所、氏名、電話番号を明記し、ＦＡＸか郵送、メールで
FAX0436-21-9142　メールkiji@cl-shop.com

## ペット情報

●子猫探しています　12／10日頃、千葉市緑区・土気ゴルフセンター近くから行方不明 生後２カ月くらい・オス 尻尾長い、体は黒白で黒色の方が多い、お腹と足は白色、鼻のところは髭みたいに黒い 体重２キロくらい すごく甘えんぼで優しい 安否だけでも知りたいです どんな些細なことでもご連絡ください 大網白里・ねな ☎090-7741-0009

## サークル

●茂原ポピュラー・ミュージック・クラブ(茂原ＰＭＣ)　第２・４㈮ 12時半～15時半 茂原市東部台文化会館 月会費:1,000円 ウクレレ・初心者歓迎 ギター・ベース・キーボード・経験者募集 歌謡曲、フォーク、Ｊポップ、洋楽ポピュラー等の有名曲を、ウクレレ・ギター・ベース・キーボード等と歌の合奏を楽しむ 石井 ☎090-2526-3704
●超初級シニア英会話　第1・3㈯ 11～11時45分 市民ステーション・マチサポ(大網白里) 挫折無しの短時間集中レッスン 月会費：2,000円 茂原あおので㈬㈯あり 太田 ☎080-5641-0217



## イベント

●加納久宜公没後100年シンポジウム「加納家と一宮」　1／26㈰ 13～17時 一宮中央公民館 150名 事前申込不要 参加無料 講演「加納家・一宮藩研究の最前線」「信用金庫と加納久宜」「加納久宜と地方改良」「加納家と私」とパネルディスカッション 一宮町教育委員会 ☎0475-42-1416
●プロムナードコンサート　1／26㈰15時開演 青葉の森公園芸術文化ホール 入場無料、予約不要 出演：イングリッシュハンドベル・キーボード：Twinkle、アルパ・歌：池山由香とビエントフェリス 曲目：ジムノペティ（サティ）、メヌエット(バッハ)、エレクトリカルパレード、コーヒー・ルンバ、コンドルは飛んでいく、いつも何度でも、他 ☎043-266-3511
●いすみフォトクラブ　四季彩写真展　1／28㈫～2／2㈰ 9～16時半、初日12時～、最終日16時まで いすみ市大原文化センター 押田 ☎090-3081-1096
●バリアフリー映画会『春との旅』　1／31㈮ 14～16時半 茂原市立図書館 普通の映画に音声ガイドや字幕を加え、視覚や聴覚に障害のある方にも楽しんでいただける映画 どなたでも 先着40名 監督：小林政広 出演：仲代達矢、徳永えりほか ☎0475-23-6151
●ボランティア菜の花会　2／1㈯ 13時半～15時半 茂原市総合市民センター 救急法、簡単な防災グッズの作り方 二見 ☎090-5508-2778
●小さなマルシェ土曜市　2／1㈯10時半～15時 農家食堂くりくり山房（茂原市萱場） 産直や手作り食品・雑貨などの直売 カフェや絵の展示も ☎090-7425-1433
●立春の自然観察会　2／1㈯ 13～16時 雨天中止 茂原公園（駐車場集合） 自然の営みやしくみを体感しながら、自然と人々のくらしについて考える 一般、中学生以上（中学生は大人同伴）20名程度 参加費:大人500円、中学・高校生100円 持ち物:おやつ、筆記具、帽子、手袋、防寒着など 要申込 電話かFAXで、参加者全員の名前、年齢、住所、電話番号を 茂原公園自然愛好会・望月 ☎.fax.0475-25-6280
●ラポール・ほのか祭　2／2㈰ 10～13時 白子駐在所隣 ビンゴゲーム・焼きとり・焼きそば・豚汁・野菜他もりだくさん ☎080-9435-6790
●長南フォトクラブ写真展　2／2㈰～7㈮ 9～16時、最終日15時まで 長南町中央公民館 入場無料 自由作品 半切・Ａ３ノビ・Ａ３等、34点 山形 ☎0475-47-0588
●アートサロン茶房けい展示会　写真展・空と水と大地の詩・冬の章：2／2㈰まで、1／27・28休、写真と俳句のコラボレーションで自然への畏敬と感謝を表現 ミニチュア着物・ちりめん細工作品展：2／5㈬～9㈰、思い出の着物を本物と同じ手順で高さ30センチ前後に縫った作品とちりめん細工多数 ともに10～18時 一宮町 ☎0475-40-0862
●特典付月例ダンスパーティ　2／8㈯17時～ 高貫ダンススクール（いすみ市岬町） 参加費：1,000円、軽飲食あり サークルたんぽぽ会員募集中：基本重視のステップとトレーニング・月３回㈯・13～14時・月会費1,500円・初心者、初級者、中高年大歓迎 ☎090-4208-1210
●能を観賞する会　2／8㈯ 14時開演 青葉の森公園芸術文化ホール（千葉市中央区青葉町） 入場無料、但し一般の方資料代500円 演目：能「羽衣」「土蜘蛛」 重要無形文化財総合指定保持者・松木千俊ほか、仕舞「高砂」「屋島」「天鼓」重要無形文化財指定保持者・大松洋一ほか、能のお話など 同日会場にて能の展示開催 主催：松の会 ☎090-9732-7791
●藻原寺フリーマーケット　2／8・22㈯ 9～13時 雨天中止 茂原市役所近く 車ごと出店：1,800円 初めての出店申込は開催日に下見の上、本部受付まで ☎090-4950-6193
●加納久宜公没後100年　特別公開「玉前神社・一宮町の宝物　一宮藩と加納家」　2／9㈰まで 9～16時半 休館：㈪・祝日の場合は翌日 千葉県立中央博物館・大多喜城分館 一般200円、高・大生100円 玉前神社や一宮町に伝わる加納家にまつわる宝物 加納久宜所用大礼服や掛け軸ほか、関連資料を展示し歴代の藩主の功績について紹介 ☎0470-82-3007
●三曲演奏会　2／9㈰ 13時半開演 茂原市東部台文化会館 箏、三弦、尺八の演奏会 特別出演：藤原道三、岡村慎太郎 入場料：1,000円 茂原市三曲協会創立30周年記念 酒井 ☎0475-22-4988
●「星に語りて」自主上映会　2／9㈰ 10時半と14時の２回上映 茂原アスモ（ＡＳＭＯ劇場） 入場料：大人1,000円・高校生以下無料 大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描く劇映画 主催：「星に語りて」を観る会 渡邊、渋沢（長生ひなた） ☎0475-22-7859
●対策講座　１万円で出来る防寒：２／９㈰、ボードやビニール、板で簡単に室温を5度以上上げる方法 生活習慣病・高血圧：２／16㈰、冬期にやると危険な事（プール、風呂、早朝ウォーキング）などの話 ともに12～14時、茂原市三ヶ谷、参加費：1,000円 古山 ☎080-1153-2513
●市史編さん事業講演会「藻原」は海からの贈り物　２／15㈯ 13時半～15時半 茂原市立郷土資料館 海がもたらした砂地の平野部、現在のボーリングデータを利用しながら貝塚などを例に紹介 30名 無料 電話で要申込・1／31〆切 ☎0475-26-2131
●考古学講座・楔型石器の謎　２／15㈯ 13時半～ 睦沢町立中央公民館 出土資料などで謎の石器・楔（くさび)型石器の魅力を紹介 無料・当日会場受付 睦沢町立歴史民俗資料館 ☎0475-44-0290
●僕らはみんな生き活き展　２／20㈭～23㈰ 10～20時、最終日19時まで 茂原ショッピングプラザ・アスモ 長生・夷隅郡市の福祉施設・特別支援学校の展示販売会 主催：長生・夷隅地区福祉施設連絡協議会 いすみ学園 ☎0470-86-3412
●今西乃子講演会「どうぶつのお医者さんのお仕事ってどんなの？」　２／29㈯ 14～15時半 茂原市立図書館 30名 無料 児童文学作家の今西乃子先生 捨て犬・未来とともに、獣医の仕事を紹介 獣医さん体験や未来ちゃんとの記念撮影タイムもあり 要申込：来館か電話で・２／１～受付 ☎0475-23-6151
●長生こども・くらしのノートの会　ネット社会に生きる子どもたち　３／８㈰ 10時半～15時 一宮学園本館 基調講演・宮崎豊久、お昼は一緒にご飯を作って食べる楽しさ倍増のおにぎりの会（オススメ具材の持参歓迎)、ワールドカフェ・質疑応答 資料とおにぎり代：1,000円 30名 要申込：２／14〆切 たまあーと創作工房 ☎0475-42-6138

## リサイクル

●差し上げます　ひな人形・五月人形 無料 取りに来て下さる方 大網白里・渡辺 ☎090-6195-7524

# 駅ピアノで街を元気に

昨年末、ＪＲ勝浦駅に誰でも自由に弾けるピアノが設置された。寄贈したのは平野清（きよ）さん(83)。平野さんが長年暮らしたバンクーバーから帰国し、勝浦市で余生を暮らすことに決めたのは４年前。女性実業家として世界各国を訪れた際、駅や空港にあるピアノを通行人が楽しそうに弾いているのを目にし、感銘を受けたという。「自分が終の棲家の地として選んだ勝浦市でしたが、あまり活気がないのが気になっていました。そこで玄関口ともいえる駅にピアノを置き、まねき猫的な存在で観光客や移住者を増やし、勝浦市が芸術の街、文化的な街だと思ってもらいたというのが動機でした」と平野さん。また、例えば市内の子どもたちが実際にピアノに触れ、弾いている人がいれば静かにに聴き、拍手をするなどのマナーや五感を育てる場としても活用したいと考えている。

「気の向くままにあなたの音を奏でてください」と書かれた壁の前のピアノの色は赤。日本の国旗や情熱をイメージしたもので、海の波を五線譜に見立て、魚や鳥などのイラストも描かれてある。

市長や関係者が出席するオープニングセレモニーの後、さっそく市内の高校生や親子が「駅ピアノ」としてのスタートにふさわしい思い思いの曲を奏でた。ピアノ利用は7時から22時まで。

（大谷）

㈶勝浦市芸術文化交流センター
☎0470・73・1001

# 更蝸（こうか）つれづれ　相川浩

## …房州浮書絵彫（うきしょえぼり）…

市原市在住の倉持光吉さんは、もうすぐ86歳になる。定年退職後、別の会社に暫く勤めていたが、体調を崩し、医者に診て貰うことになった。「自分に向いたことで何かに集中すると、この病気は良くなります」と診断され、何か無いものだろうかと探したそうだ。出会ったのは、戦後、房州館山で発祥した「房州浮書絵彫」。孟宗竹に浮世絵や花鳥風月を彫刻する竹工芸品である。現役時代から喜多川歌麿の浮世絵本を所蔵されていた倉持さんは、人一倍感心度高く興味をもったとのこと。

早速、教室を訪ね一から教えて貰ったところ、腕はメキメキ上達し、仲間からも褒められる様になった。ところがこの教室は、伝統的な工法が主流で、倉持さんの望む色彩表現及び、細部までの彫り方は本流と違い、やむを得ず教室を離れたという。独自の研究から原画に近い浮き書絵彫技法を確立し、浮世絵、美人画、花鳥風月、書などを彫り、今年で21年程となる。以前は千葉市などで、今は市原市内の教室での指導や作品作りに励んでいる。倉持さん（光峰流）の特徴とする技法は、ぼかし・色むら対策・豊かな色彩表現・繊細な彫り・鹿の子絞り。この高度な技術は、生徒さんたちにより次の世代へと引き継がれている。

当ギャラリー・和更堂（市原市更級1丁目9の1）でも、倉持さんの作品展は度々開催してきており、今月も29日㈬まで展示中だ（月曜休業）。最近は扱いやすい小物類も増え、好評である。

写真：相川浩

倉持さん（昨年撮影）

・相川浩：市原市出身。三井造船で定年まで勤め、退職直後の平成20年、自宅敷地にギャラリー・和更堂を設立。多くの郷土の芸術家と交流する。「更級日記千年紀の会」事務局担当。

☎0436・98・5251

# 復興への道のりは、はじまっている

11月23日㈯、千葉市中央区のそごう千葉店で開催された『市原市・房総 災害復興フェア』。9月、10月に千葉県を襲った台風15号や暴風雨は多くの県民に甚大な被害を与えた。同イベントは市原市主催のもと、そごう千葉店と市原市文化団体連合会の協力で行われ、千産千消（ちさんちしょう・地域の物産を地域で消費するという意味の地産地消という言葉に千葉の『千』をかけた造語）を推進して復興を支援するため、市原市内の名産のみならず県内のスイーツや加工品を販売した。

## 美味しいがいっぱい

会場には市原市農業協同組合の大根や自然薯、県立市原高校の生徒が栽培したシクラメンやパンジー、市原市企業組合情熱市原ワンハートが製造したいちはらの梨ゼリー、市原市杉山ジャム工房の焼き菓子などが並ぶ。そして、特に被害の大きかった富津市からは見波亭のバームクーヘンや、南房総市で栽培された花々が販売用カートを彩った。また、千葉を元気にするステージと称して、市原市鼓友会（こゆうかい）と吟詠剣詩舞連盟によるステージが2回行われ、行きかう人々を魅了した。

市原市経済部商工業振興課の課長 黒須紀男さんは、「度重なる災害は、農業に留まることなく被害が多大ですが、様々な人が協力し合って頑張っていることを多くの人に知ってもらうことが必要です。市原市内では、ここまで絶えず人が行きかう場所はないので、とても貴重な機会をいただきました」と、話した。復興にあたり、市原市では『がんばろう市原・がんばろう房総』の文字の入ったロゴマークを使用。灯台がある海辺のシルエットが、赤い色によく映えている。「市民の方のご協力で、被災された方にフォーカスをあてたパネルを制作したので、今回展示物として持参しました。市原市の美しい風景を題材にした絵ハガキも販売しているので市原市にもっと親しみをもってもらい、来年の春に開催するアート×ミックスに繋げていけたら」と、同市職員の杉山達典さんは展望を語った。

そのパネルに登場している一人が、市原市内で有機野菜とはちみつの栽培をする株式会社ワンドロップファームの代表、豊増洋右（とよますようすけ）さん。「氾濫した村田川の近くに倉庫があるので、停電した薄暗い中、果物がダメになってしまう前にひたすらジャムを煮ていました。野菜は、また植えればいい。自然と生きている以上、仕方がない部分もあります。とはいえ、今回の災害は予想をはるかに超えていました。雨が続いたので、片付けようと思っても、はかどっていないですね」と、現状を訴えた。また、富津市の土産物ショップ『ザ・フィッシュ』内の店舗である見波亭の川又由衣さんも、「1カ月の休業が必要でした。海の波風でベタベタになった建物内の掃除に始まり、食品は廃棄しました。12月26日までクラウドファウンディングで『鋸山復興プロジェクト』を行っています。目標金額は300万で今は半分ほど」と話していた取材時。その後、プロジェクトは見事成功した。

ワンドロップファームの豊増さん（右）と、見波亭の川又さん

## 県民全体で復興に目を

今回のイベントに尽力したのは、華道家の関本清人さん。市原市文化団体連合会の会長を務め、市原市とそごう千葉店との架け橋になった。また、市場に出回らなくなった南房総の花々も調達しており、「行政の支援は必須。花は心を穏やかにしてくれるし、とても綺麗に咲いています。少しでも助けになれていたら嬉しいです」と、微笑んだ。バラやカーネーション、トルコキキョウなど豊富な種類と明るい色合いに、通行人の多くが足を止めていた。人々の関心の高さは、そごう千葉店の担当者である内田晋さんも大きく頷く。「ほとんどのイベントは2カ月前から準備をしますが、今回はお話があってから実施日までに2週間ほどでした。迅速に行うことが大事という判断でしたが、良かったと思います。市原市と書かれた旗を見て足を止める方もいます。ステージへの外部からの問い合わせも多くありました」。

そして、ステージで演技をした『市原鼓友会』の代表 阿部忠昭さんは、「会は市内で活動する3つの太鼓の団体でできていて全体で70名ほど。市内を盛り上げようと平成24年に結成しましたが、すぐに東日本大震災が発生したので、以前より復興イベントなどに参加してきました」と、話す。太鼓は原始の音といわれ、母親の胎動とリズムが同じなので人々に心地良く感じるのだとか。ステージが始まると、あっという間に人だかりができるのが印象的だった。

千葉市在住の女性からは、「こうして身近な場所で復興の手助けができると思うと、同じ千葉県民としても絆が深まる気がします」、「親戚が市原市なので、とても心配しました。これからは県全体で災害に力をいれないといけないですね」などの感想が聞こえた。復興プロジェクトは、これからも県内の至る場所で続いていくことだろう。 （松丸）